



三重大学医学部附属病院長  
伊佐地 秀司

新年を迎えるにあたり、先人達にも感謝を込めて「おめでとう」を伝え、皆様の期待になお一層応えられるよう、医療人としての使命を果たしていきたいと思います。そして、みなさまにもご多幸を願い心より「おめでとう」を申し上げます。今年もよろしくお願ひいたします。

本院の由来、いわば「祖先」は、明治9（1876）年に安濃郡塔世村（現在の津市栄町）に開設された三重県医学学校です。その後、三重県立医学専門学校となり、昭和48（1973）年の国立移管で三重大学医学部附属病院となりました。平成24（2012）年には屋上にヘリポートを備えた現病棟が開院しました。150年に迫る長い歴史の中で先人たちが重ねた献身的な努力により、本院は今、三重県唯一の特定機能病院として、県内医療の「最後の砦」を担っています。

新型コロナウイルス感染症については、当院も令和2年の第一波から診療にあたってきました。県内の感染者が激増し、医療現場が危機的状況となつた昨年夏の第5波では、本院の職員全員が「悩める患者さんを前にして、自分たちに何ができるかを問う」の精神で団結し、乗り越えました。これも、先人達が作り上げてきた文化があつた結果です。

## 新年にあたり

業務を行う係もあり、内向きの業務ながら案外気を遣っている部門かもしれません（？）。

総務課いわく「うちは何でも屋」。確かに、職員がどこに相談に行ったらいいかわからないときは、まず総務課を訪ねます。

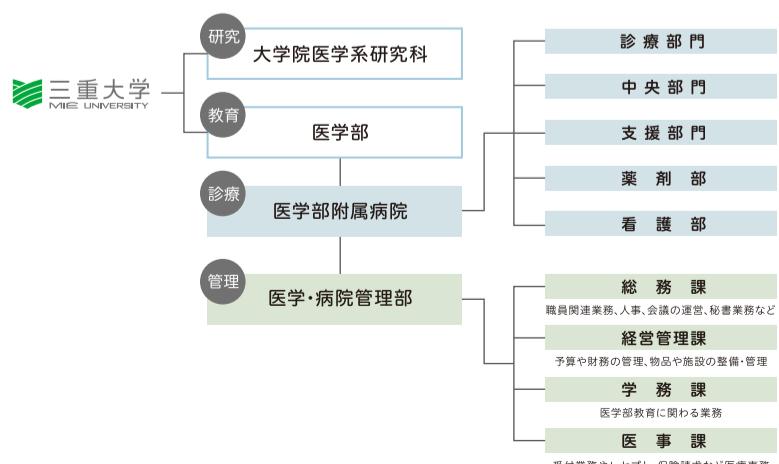
### 経営管理課

診療に必要な物品や施設の整備・管理など、診療体制に直結する業務を担っているのが「経営管理課」です。医学部や附属病院の経営状況分析に基づく予算など、お財布を管理しているのもここ。調達の契約やメンテナンスの計画・実施を進めたり、日々欠かせない清掃、警備、給食など外部業者さんに委託している業務管理も担当しています。

### 医事課

「医事課」は、窓口での外来受付や会計業務、レセプトや医療保険の請求業務などを管理・実行する部門で、医学・病院管理部の中では一番患者さんに近いところで仕事をしています。また、安全な医療の対策を立てたり、医療従事者が診療に専念できるようサポートしたりしています。お財布とハード面を担当するのが経営管理課とすれば、お財布に入る前のお金とソフト面が医事課の担当分野と言えます。

### 三重大学医学部附属病院の組織図と管理部の主な役割



## 平常通りの診療を裏から支える 病院の縁の下の力持ち

診療を日々平常通りに行なうことは、医療機関の基本。医療従事者だけでなく、裏方として働く多くの職員もそれを支えています。大学の附属病院ってどんな組織で運営されているのか、今号は病院運営の裏側にスポットライトを当ててみました。

朝8:00、外来棟の玄関が開き、病棟では朝食が配膳され、平常通りの病院の一日が始まります。

診療を安定して提供する「平常通り」が、基本中の基本である医療機関。そんな平常通りは、医師、看護師、薬剤師、技師、栄養士、臨床心理士など、医療現場の表で患者さんと関わる職員だけではつくれません。裏方として働く多くの職員や外部業者さんの力も必要です。三重大学病院でそんな裏方を担うのは「医学・病院管理部」という部門。ここに管理運営の機能が集約されています。できるだけ診療がスムーズに安全に進むように、できるだけ安心して過ごしていただけるように、できるだけご不安のないようにといった思いで、病院の平常通りを裏から支えています。

### 医学・病院管理部

当院の「医学・病院管理部」には、「総務課」「経営管理課」「医事課」「学務課」という4つの課が配置されています。さらに課ごとに細かく業務が係に振り分けられています。この中で、「学務課」は医学部の教育に関わる部門となるので、ここでは、病院運営に関わる他3つの部門が何をしているのかご紹介します。

### 総務課

職員の給与計算、人事、教授会や会議の運営など、職員向けの業務を担当するのが「総務課」です。中には、医学部長や院長の秘書

## 医学・病院管理部 総務課

### 院外はもちろん院内からも愛される三重大大学病院へ

総務課は職員向けの業務が中心の部門ですが、その中にある「秘書広報係」は、病院内外に向けた仕事を担っています。一つは、医学部長と病院長の秘書業務、もう一つが病院ホームページの管理や広報誌の発刊、取材対応、病院公式マスコットキャラクター(ミーベとミッピ)管理などの広報業務です。広報は、院外だけでなく、院内への活動も大事。院外からも院内からも愛される三重大大学病院になるために一役を担えればと思っています。最近では、病棟5Fに巨大クリスマスツリーを、また外来棟1Fにイルミネーションを設置しました。今後も患者さんへのエールと、そして職員への慰労を始めた施策にも力を入れていきますので、ご期待ください!

#### \ 秘書広報係だから知る院長の裏の顔 /

秘書業務で院長と頻繁に関わる立場から、その裏の顔を紹介するとすれば、とても温厚で人の話をよく聞いてくれる人です。年齢は私より2回り上ですが、比較にならないほどITに強く、PCやスマホ、時計すべてが最新で完全デジタル化。

気分転換に、病院長室内で急に竹刀の素振りを始めるおちゃめな一面もあります。



上段 右から2番目が奥村係長

#### ■ 総務課 秘書広報係 奥村祐一 係長

三重大学の生物資源科学部を卒業し、三重大学職員に。大学病院と聞くと難しいイメージがあるかもしれません、ドクター含め職員はとても親切で暖かいです。個人的には小学校から続けている野球が趣味で、学内職員野球部にも所属しています。こんなに野球を愛しているのに、なぜか息子がサッカーを始めたことがとても寂しい今日この頃です。

## 医学・病院管理部 経営管理課

### 日常の診療に支障をきたすことがないように

経営管理課の大事な責任は、日常の診療に支障をきたさないよう、医療機器、医療用消耗品、施設などの医療環境の充実を一番に考え、医療従事者が働きやすく、また結果的に何よりも患者さんが安心安全な医療を受けられる病院として環境を整えておくことです。

当院は県内唯一の特定機能病院でもあり、質の高い高度医療を提供できるよう医療機器などの充実を継続的に図っていくことが必要です。そのためにも健全で効率的な経営に向け課のメンバーが知恵を出し合っています。外来棟や病棟は竣工から7~10年が経ち、そろそろ耐用年数を過ぎる設備も出てきます。ちょうど中長期的な整備計画を策定中なのですが、患者さんメリットを第一として、必要な財源を確保し、計画的に整備を進めていきたいと考えています。



下段 中央が伊藤課長

#### ■ 経営管理課 伊藤利宏 課長

運動不足&ストレス解消は、週2~3回のバドミントン。コロナ禍のステイホームが読書とコーヒーにはまるきっかけになりました。平成元年、新規採用で医事課に配属、本部の事務局財務部を経て、病院の経営管理課へ異動して現在に至るまで、長年病院に関係する業務に携わってきたため、病院に対する思い入れが強いです。

## 医学・病院管理部 医事課

### 複雑化する診療報酬を患者さんにもわかりやすく

医事課の最大の役割は、正確に診療報酬を算定し、ご請求すること。外来だけでも一日平均1,400人の診療が行われる当院では、診察室や検査室で打ち込まれた診療内容が電子カルテシステムで管理され、医事会計システムと連動して診察料が計算されています。当院のように多様な診療に対応している場合、扱う診療報酬制度はより複雑なものとなり、それを理解し、適正に運用するためには、現場スタッフや患者さんとの円滑なコミュニケーションが欠かせません。医事課の職員がまず医事業務の高度な知識を持ち、正確な課題解決、業務改善を行うことが病院経営の強化につながると考え、業務にあたっています。



上段 左から3番目が福田副課長

#### ■ 医事課 福田雄一 副課長

高度医療の提供(診療)、医療人材の育成(教育)、医療技術の発展(研究)が大学病院の役割。この大きな使命を持つ大学病院に関わっていることを嬉しく思うとともに、さらなる三重大学病院の発展に微力ながらお役に立ちたいです。趣味は筋トレ、特技はベンチプレス、好きな食べ物は鶏むね肉と、筋肉への愛も強いです。

## こんなところでもいろいろな人が医療を支えています！

病院の「平常通り」を支えるいくつかの業務は、外部業者の方々に委託し、病院職員と連携して行われています。そんな業務の一部をご紹介します。

### クリーニング・院内物流管理

SPD(医療消耗品や薬品等の供給・在庫管理などを行う院内の物流管理)、寝具の管理・クリーニング、中央材料室(手術室清掃、手術室機器の洗浄、滅菌など)を担っているのは、医療機関の関連業務を専門に行う外部業者さん。総勢90名で業務ごとに専門チームを組んで担当いただいているます。

#### 手術室には手術室に必要な清掃・管理がある

例えば極めて高水準な清潔が必須の手術室。手術が行われるたびに機器もすべて洗浄され、手術室全体が消毒滅菌でリセットされることで初めて次の手術を行えます。しかし使用済みの手術室には感染などのリスクがあり、またわずかな汚染残りが患者さんの命に関わることもあるため、清掃にも専門の知識や技術が求められる仕事です。手術室にありがちなリスクを避け、次の安全な手術のために見落としをしない“危機予知”スキルを習得したスタッフが清掃の面から患者さんの命を守っています。

#### ＼ チームの皆さんからのメッセージ / 「業務を通して感謝の気持ちを届けたい」

現場で感謝のお言葉を頂くときが、私たちスタッフにとって一番嬉しいときです。現在、三重大学病院チームは、経験数カ月の新米スタッフから何十年と働くベテランまで様々な個性輝くメンバーで構成されています。これからも業務を通して感謝の気持ちを届けられるように頑張っていきますので、よろしくお願いします。



### 受付・案内業務

総合案内での患者さんのご案内、各階フロア窓口での初診・再診の受付、会計受付、計算のほか入院受付や診断書受付などをお願いしているのも外部業者さん。こちらは裏方というよりどちらかと言えば表方。様々な処理でお待ちいただくことが多い受付や会計ですが、気持ちよい笑顔を大切にしています。

#### 患者様がどんなことを求められているのか

病院に入ってこられた患者様の動きに目を配り、困られているような方がいらっしゃったら、できるだけこちらからお声掛けしています。そんな時は、患者様のお話を最後までお聞きし、どんなことを求めていらっしゃるのかを考えて対応することを大事にしています。

#### ＼ チームの皆さんからのメッセージ / 「皆様に満足いただけるように」

医療スタッフのような専門的なサポートはできませんが、私たちがご提供するのは来院される皆様に満足していただけるような、心のこもった接遇サービスです。そのために、定期的に接遇研修を行い、身だしなみ、言葉遣いなど毎月項目ごとにセルフチェックと他者チェックを行い、接遇の質向上を目指しています。また、患者様に満足をご提供できるよう、スタッフに「ホスピタルコンシェルジュ」の資格取得を推進し、病院接遇のスペシャリストとなれるよう取り組んでいます。何かお困りのことがございましたらお声かけください。



## NEWS

### ✓ 感染症危機管理センターを開設しました。

#### 感染症診療の専用施設 災害時にはトリアージスペースに

2021年11月25日(木)、三重大学病院に「感染症危機管理センター(Infectious Disease Management Center)」が開設されました。

このセンターは、新型コロナウイルス感染症のような感染症流行時に、感染の疑いがある患者さんの検査や感染者の外来診療を行う専用施設です。また、災害発生時には、治療の優先度を決定するトリアージスペースとしても運用します。一方、平時には、関連する研修や会議などにも用途を広げ、効率的な活用を検討していきます。

本センターは2階建てで、1階には、待合スペース、診察室、CT検査室、スタッフルーム、2階には、酸素投与が可能な多目的室が整備されています。外来棟とは別棟となる当センター内でCT検査が可能となることや、専用ユニットによりエアロゾル発生のリスクが高い耳鼻咽喉科処置も行えるなど、患者さんの安心と医療関係者の安全を担保しつつ、感染症医療や災害医療を迅速かつ効率的に提供できる環境を整えています。

特定機能病院や災害拠点病院である当院の地域医療における役割に基づき、今後も発生しうる様々な感染症や災害医療への備えとなる施設として運営してまいります。



## 健康一言アドバイス

# 『便秘～後編～』

前回に続いて、今月号のこのコーナーのテーマは「便秘」です。女性に多い悩みと思われがちですが、60歳代以上では男女ともに多くの方の悩みになっています。

特に寒くなるとよけいに便秘になるという方も多いのではないでしょうか。それは、冬にありがちな水分不足、運動不足、冷えと自律神経の乱れなどが関わっているかもしれません。

今号ではいよいよ解消に向けたアドバイスをお伝えします。



排便は朝の生活から!

朝、目が覚めたとき、まだ頭がぼんやりしていることがあります。同じように、体も寝ぼけている状態です。朝食をとることによって、眠っていた胃や腸が刺激され、体が目覚めきます。そこで、排便を促すために、起床後すぐに、コップ一杯の水を飲むと良いでしょう。胃腸がびっくりして、目を覚まします。

また、一日の中でもっとも便意を感じやすいのは朝食後30分ほどの時間帯なので、たとえあまり便意を感じていなくても、力まず、ゆっくりトイレに座ってみましょう。排便の習慣をつくるためには、「便をする時間」だということを、体に認識させることが大切です。

朝はバタバタして、ゆっくり朝食をとったり、トイレに座っている余裕がないという方も多いかもしれません。早寝早起きを心がけ、朝のトイレタイムをゆっくりとれるようにするなど、朝の過ごし方から見直してみましょう。

適度な運動を心がける

便を出すためにはいきむ力が必要ですが、いきむためには筋力、特に腹筋が必要です。筋力が弱いと、便意を感じてトイレに行っても、一度に便を出せないことがあります。すっきり便を出すためには、体をたくさん動かすように心がけ、筋力アップをめざしましょう。体を動かすことでリフレッシュでき、ストレスも解消できます。また、体が疲れれば夜はぐっすり眠れるようになり、朝すっきり目覚めることにもつながります。

## 食生活からの対策

便を構成している食べもののかさの多くは、体内で消化・吸収されない食物繊維です。食物繊維は吸水能力が高いため、大腸内で膨張し、便のかさを増やします。かさが増えると大腸が刺激され、ぜん動運動が盛んになり、排便がスムーズになります。さらに食物繊維には腸内の善玉菌を増やし、悪玉菌の増殖を抑える働きもあります。食物繊維の豊富なきのこ類、海藻類、いも類などを多く摂取すると良いでしょう。便秘がちなときは、大腸にたまっている便からさらに水分が吸収され便が硬くなり、ますます便秘がひどくなってしまいます。水分を十分にとるように心がけましょう。

## 便意を我慢しない

便意を感じても、すぐにトイレに行かなかったり、我慢をしたりしていると、便意はそのうちに消えます。それが続くと、いくら大脑が指令を送っても、便意を感じない体がつくられてしまいます。その結果、慢性的な便秘になってしまうこともあります。便意を感じたら、我慢しないことも大事です。

消化器病センター 医師 堀木紀行

今回、なかなか表からは見えない、病院の裏方である事務部門をクローズアップさせていただきました。私も病院職員になる前は、病院で受付や会計をする方=事務の方という単純な認識でしたが、事務とひとくくりで表現しても、実はいろいろな種類や仕事があることが少しでも伝わればと思います。私自身は、財務、学務、総務と経験を積ませていたのでいた後、現在の秘書・広報業務の担当となり、もうすぐ2年が経ちます。目立ったがり屋なので広報業務をやりたいと思つていました。が、大学病院といふことも含めて、広報の仕方一つ一つが難しく日々勉強の毎日です。皆さんに少しでも分かりやすくお伝えできるよう、今後も猛勉強で頑張ります。

編集後記



# へー！そなんやあ！ 三重大学病院トリビア

---

## vol.14 ふたつの10周年



国立大学法人【特定機能病院】  
**三重大学医学部附属病院**

三重大学病院広報紙「ミニニュース」vol.15 2022年1月発行 無料

TEI :059-232-1111 (代言)

発行: 三重大学医学部附属病院 〒514-8507 三重県津市江豆橋2丁目174番地

二里大字医学部附属病院 〒514-8501 二里東津市注ノ橋2丁目17番地  
<http://www.hosp.mie-u.ac.jp/> 広報センターTEL:059-231-5554

本紙掲載の文章・記事・写真等の無断転載はお断りします。本紙に関するご意見

本紙掲載の文章・記事・字典等の無断転載は禁じます。本紙に関するご意見・ご感想は電子メール又はFAXにてお問い合わせ下さい。

お知らせ

感染症対策、  
レシピ、  
防災情報などを  
UPしていますの  
でご覧ください!



ミュースWEB版



□